

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	村づくり委員会事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
-------	-----------	-----	---------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	5. 持続可能な村、住民が主体の村／協働の推進／住民主体の協働の村
関連する主な計画等	
根拠法	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	村づくり委員会としての届け出をした村民組織(5人以上)
事業開始年	H20 <input type="checkbox"/> 時期不明
事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	持続可能な村づくりのために、村民が自発的に行う村づくりの取り組みの経費(研修費、視察費、学習費等の費用)に対し、支援金を交付して活動の支援を行うことにより、村民が自らの地域や村の課題解決に向けて、主体となって取り組む村をめざす。					
具体的取組	広報紙に活用の掲載 活動報告会と講演会の開催					
実績・効果	村民がその時々々の村の課題について、研究や学習、研修を行う際の経費負担について、この制度を活用することによって住民の自主的な取り組みが可能となっている。住民がやりたい事ができる住民主体の村を目指す阿智村として、住民の力を引き出す大きな道具となっている。 村づくり委員会登録79団体中、27年度活動17団体					
歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	支援金	840				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	1,050	859	840	1,000	1,000
	うち一般財源	1,050	859	840	1,000	1,000
	うち補助金					
	うち個人負担					
	従事職員(人)	正規職員 1	1	1	1	1
	臨時職員 1	1	1	1	1	

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	自ら主体的に取り組むを行う住民からのニーズは高い	B
	手段、成果は妥当か	a	住民の主体性を引き出す手段として妥当	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当	
	村の関与は妥当か	a	妥当	
有効性	期待された効果が得られたか	村民の皆さんが取り組む課題について、それぞれ効果が上がっている		A
効率性	コストの削減に努めたか	a	余地なし	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	余地なし	
公平性	受益者負担は適切か	組織運営費、食糧費は補助対象外にしている		A
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	活動が終わっている団体も見受けられるため見直しが必要。
今後の取り組み	全登録団体へ活動状況の調査する。新しい課題を持った村づくり委員会を支援する。